

開催日 2023年 12月 18日 (月)

2023年12月18日(月)に教育機関等イベントとして、中央高等学院とその提携校において「冬休み職業紹介(多様な医療関係の仕事)」がZoomで開催されました。

高校1、2年生の生徒さん52名(1年生36名、2年生16名)が参加しました。生徒さんは自宅からZoomで視聴しました。

当イベントの目的は、生徒が多様な職業があることを知るキャリア教育の一環として、医療の現場ではいろいろなメディカルスタッフ(医療専門職)が患者さんにかかわり、最適・最善なケアの提供をしていることを学び、自分の進路を考えるきっかけにすることです。

チーム医療推進協議会が事務局(窓口)となり、日本義肢装具士協会を含め9つの医療専門職の団体に声が掛けられイベントが実現しました。

プログラムは午前と午後の部に分けられ、各職種毎に20分の発表時間が割り当てられていました。当協会は午前の部で発表し、発表後は中央高等学院の白石氏と質疑応答を行いました。

参加した医療専門職は以下の通りです。

日本精神保健福祉士協会、日本視能訓練士協会、日本義肢装具士協会、日本臨床工学技士会、日本作業療法士協会、日本臨床細胞学会細胞検査士会、日本医療ソーシャルワーカー協会、日本診療情報管理士会、日本公認心理師協会

各職種の説明は質疑応答を含めて20分でした。9つの医療専門職の話を一度に聞いたことは生徒さんにとって有意義な時間だったのではないのでしょうか。

以下にイベントの概要を説明します。

## 各医療専門職の説明

以下の内容を主に生徒へ伝えました。

- ①仕事の内容
- ②どのようにその職種を知ったのか
- ③どうしてその職種を選んだのか
- ④どうしたらその職種の資格が取れるのか
- ⑤その仕事の魅力

義肢装具士は前半3番目の発表でした。前回同様、義肢と装具の説明、仕事内容の説明、そしてどうして義肢装具士を選んだかの話をして、最後は義肢装具士の魅力を伝えました。

webのため、生徒の顔は見えませんが、アンケートの内容を見ると興味を持ってくれた生徒が数名いたのは分かりました。

次回は説明方法を若干変更し、更に分かりやすく興味をもってもらえるよう、工夫したいと思います。



< Zoomの様子 >

## イベントを終えて...

令和5年12月18日(月)に、中央高等学院の高校生1、2年生を対象にzoomで医療関連の職業紹介として義肢装具士の紹介を行いました。前回は午前と午後の部で分かれていましたが、今回は通しで9つの職能団体が発表しました。発表時間は質疑応答を含めて15分と指定されており、結果的に質疑を入れて20分程度になりました。

発表に関しては、今回は前回と同様原稿を読む形式で行いましたが、もう少し自分の言葉で話す事が必要だと思いました。

質疑応答の際に中央高等学院の白石氏より、「入学試験は難しいのか？」との問いに対しては、自分の職場の試験内容について回答しました。そこまで難しい内容では無い事は伝えられたと思います。

アンケート結果では、内容については全員の生徒が内容はほぼ理解できたとの回答を得ました。

また9割以上の生徒は、この職業紹介が進路を考えるきっかけになったとの事で、今回の参加も有意義なものとなりました。

担当幹事：安部 勉



## アンケート(生徒の感想 一部抜粋)

- ・説明も聞き取りやすく、図も分かりやすいように出来ていたので、集中出来ました。どうもありがとうございました。
- ・名前だけ知っていても内容を知らなかったり、名前も知らなかった職業もありましたが、それぞれの職業内容も知れて他の物との違いも分かりました。医療関係の仕事に興味を持ちました。ありがとうございました。
- ・本日は職業紹介の時間を設けて頂き、ありがとうございました。友人が医療関係の道に進むことや、自分が昔気になっていた進路でもあって参加しましたが、とても勉強になりました。
- ・自分が知らなかった職業がほとんどだったので、この機会に知る事が出来て良かったです。進路の参考になりました。ありがとうございました。
- ・医療関係の仕事でも、沢山の仕事がある事が分かりました。貴重なお話をありがとうございました。
- ・普段関わらない職業の方々のお話はとても貴重でした。お話を聞いていく中で初めて聞く内容もあり、とても勉強になりました。ありがとうございました。
- ・将来の夢は理学療法士だったのですが、他にも様々な医療関係の仕事について知る事が出来て、将来のための参考になりました。興味深い職業があったのでじっくり考えてみたいと思います。本日はありがとうございました。